

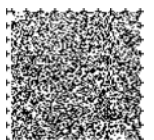
あいちビジョン 2020

～日本一の元気を暮らしの豊かさに～

概要版

2014年3月

愛知県

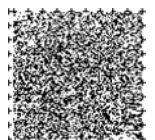


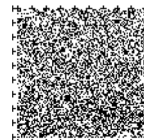
<目 次>

策定趣旨・目的	1
I 2030年の社会経済の展望	2
II めざすべき愛知の姿	3
III 2030年に向けた地域づくりの戦略と基本目標	6
IV 重要政策課題と主な政策	9
V 地域別の取組方向	21
VI ビジョンの推進に当たって	28

策定趣旨・目的

リニア中央新幹線（東京・名古屋）の開業後の2030年頃を展望し、2020年までに取り組むべき重点的な戦略を明らかにするとともに、県内各地域の取組方向を示す。





1. 未曾有の超高齢社会・人口減少の進行

- 本県の人口は、直近の動向を踏まえると、2020年頃にピークを迎えることが想定される。
- 2010年から2030年までに、本県の生産年齢人口（15～64歳）は約10%減少する一方、老年人口（65歳以上）は約32%増加
- 2030年の高齢化率は27.7%（全国は31.6%）
- 高齢化等により、単身世帯が大幅に増加する見込み
- 尾張地域の人口のピークは2015年。西三河地域は2020年。2008年をピークに人口減少が始まっている東三河地域は、引き続き減少が続く
- わが国人口の大都市圏への集中が進み、本県の全国の中での人口ウエイトは高まっていく（2010年：5.8%⇒2030年：6.2%）

2. アジアが牽引する世界経済とグローバル化の進展

- 2020年代には、中国がアメリカを抜いて世界最大の経済大国になると予測されているなど、アジアが最大の経済圏として世界経済を牽引
- 日本を含む先進国の成長力は低下し、世界の中での日本のプレゼンスは低下
- 世界経済の相互依存関係やフラット化が進み、企業の世界展開が加速するとともに、グローバルな人材獲得競争が激化
- 産業構造の変化とともに、産業や企業をまたぐ労働移動が拡大

3. 災害リスクの増大と環境・エネルギーリスク

- 南海トラフの巨大地震がいつ起きてもおかしくない状況にあり、防災・減災の取組が求められる（30年以内にM8以上の地震が起きる確率は60～70%）
- 世界的な人口増加や新興国の経済発展に伴い、資源・エネルギーの需給逼迫が懸念され、エネルギー供給の多様化等の対応が求められる
- 新興国の経済発展や化石燃料への依存などにより、地球温暖化の進行や生態系への悪影響等が懸念され、地域として環境負荷低減の取組が求められる

4. リニア中央新幹線開業のインパクト

- 2027年度のリニア中央新幹線の東京都～名古屋市間の開業により、交流圏が大幅に拡大し、国土構造にも大きな変化をもたらす
- 首都圏との産業活動や観光面の交流が活発になる一方、首都圏へのストロー現象が懸念され、地域の強みを生かした戦略的な地域づくりが求められる
- 東海道新幹線やリニア中央新幹線の間際駅を生かすことが求められる

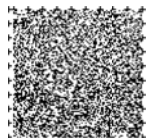
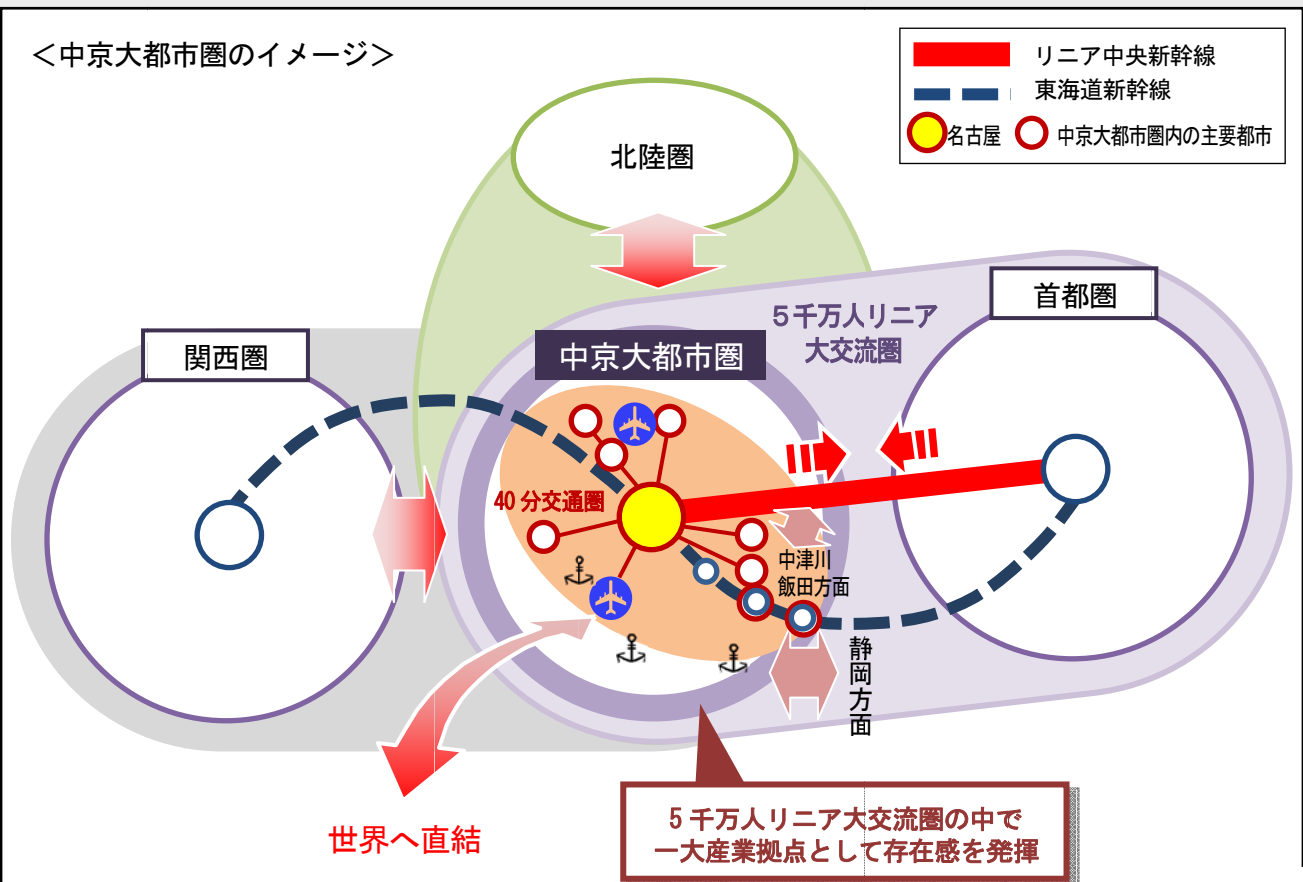


リニアを生かし、世界の中で存在感を発揮する中京大都市圏

～5千万人リニア大交流圏の西の拠点として、人、モノ、カネ、情報呼び込む大都市圏

- ◆2027年度のリニア中央新幹線の東京都～名古屋市間の開業により、首都圏から中京圏に及ぶ範囲で、人口5千万人規模の巨大な大交流圏が誕生する。大阪まで開通する2045年までは、この地域がリニア大交流圏の西の拠点となる。
- ◆リニアのインパクトを最大限に生かし、名古屋を中心に社会的・経済的な結びつきが強い広域エリア（名古屋を中心とした80～100km圏）を、「中京大都市圏」とし、首都圏の吸引力に対して独自の機能を備えながら、北陸圏、関西圏に後背圏を広げていく。
- ◆中京大都市圏は、リニア大交流圏の中で、世界と直結する一大産業拠点としての役割を担っていくとともに、この地域の多様な魅力を発信しながら、国内外から人・モノ・カネ・情報を惹きつけていく。

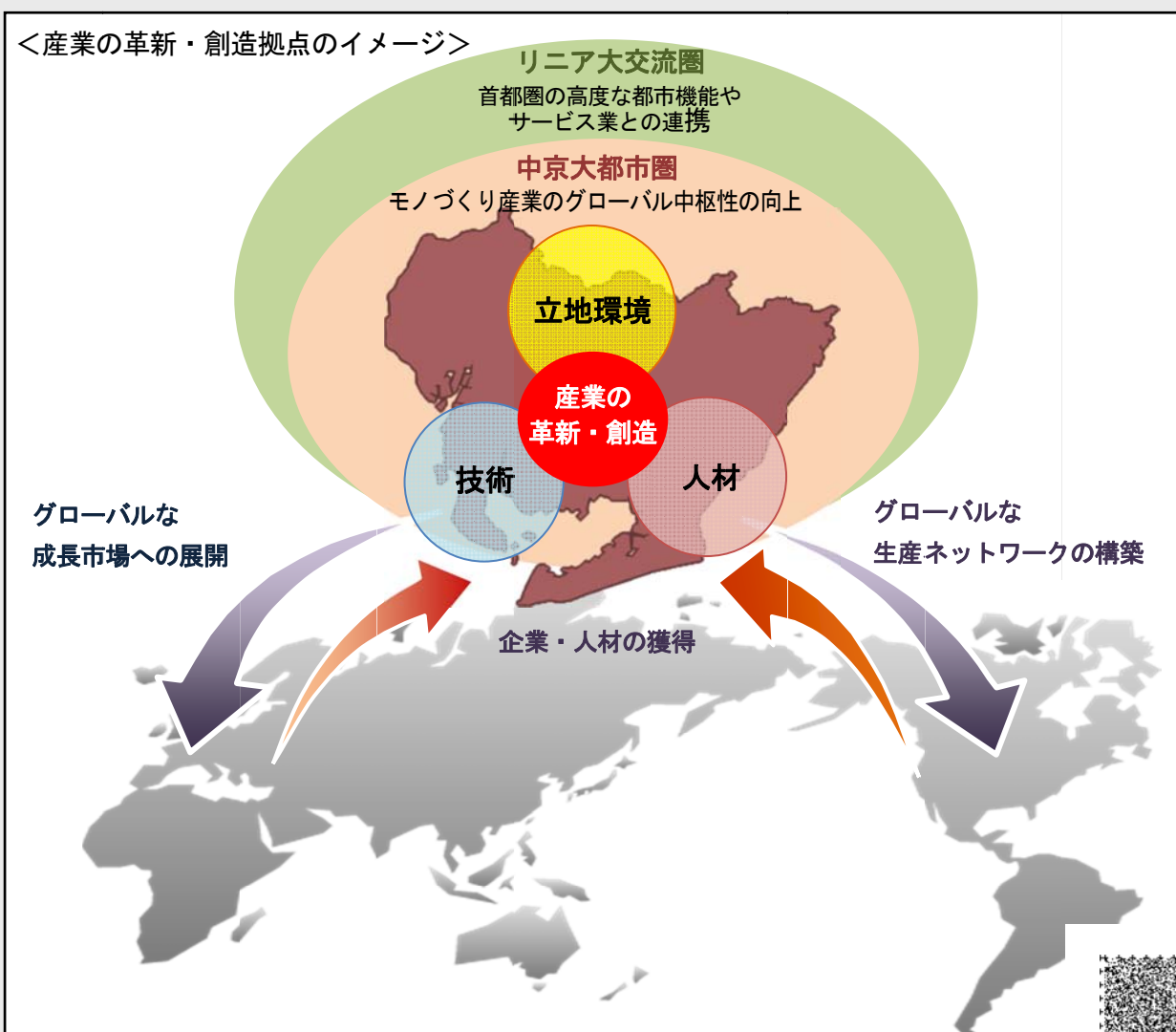
＜中京大都市圏のイメージ＞



日本の成長をリードする産業の革新・創造拠点

～企業や人材が集まり、革新的な技術の創出や成長産業への展開が進む最強の産業県

- ◆広域道路ネットワークの整備やリニアの開業などにより、中京大都市圏の立地環境の優位性が高まる中、国内外から企業が集まり、県内で育った人材、国内外から集まった人材が切磋琢磨しながら、革新的な技術を次々と生み出していく。
- ◆拡大する世界経済の中で、この地域の企業は積極的に成長市場に展開し、またグローバルな生産ネットワークを構築するなど、この地域におけるモノづくりのグローバルな中枢性が高まっていく。
- ◆さらに、リニアの開業により生まれる大交流圏の中で、首都圏が持つ高度なサービス産業等とも連携し、相乗効果が図られながら、ビジネスモデルの高度化や成長産業への展開が進んでいく。
- ◆こうした活発な展開のもと、産業の革新・創造拠点として、わが国の成長を力強くリードしていく。



安心安全で、誰もが夢と希望を抱き、活躍する社会

～人が輝き、女性や高齢者、障害のある人など、すべての人が活躍する愛知

- ◆人口減少社会を見据え、男女を問わず、若者から高齢者まで、障害の有無や国籍に関わらず、多様性を認め合いながら、誰もがそれぞれのライフステージにおいて活躍し、全員参加で支える社会をめざしていく。
- ◆前向きにチャレンジする人が育ち、仮に失敗しても再チャレンジしながらキャリアを形成していくことができる社会、希望する人が家庭や子どもを持ち、地域全体で子育てを支える社会、女性が元気に働き続けられる社会、高齢期にも企業や社会で能力を発揮できる社会、さらには、人生90年時代を健康で安心して地域で暮らすことができる社会を実現していく。
- ◆あわせて、地震や犯罪などから県民の命や財産を守ることができる社会、環境と地域経済の発展が両立できる持続可能な地域社会を築いていく。

